

# 万葉



## 『我が事・丸ごと』 地域共生社会を考える

万葉荘園ヤマト  
施設長 森田由紀久

昨年五月、「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」（通称「地域包括ケア強化法」）が成立した。このことにより、障害者、高齢者、児童が互いの制度の垣根を越えて共に生活し、一つ屋根の下の家族的な関係を構築することが出来るようになった。まさに地域生活の支援拠点となり得るのだ。法律の成立については、やや拙速になりすぎたきらいはあるものの、そもそも「共生型サービス」とは、介護保険制度における基準該当障害福祉サービスを基本とした方法を他の制度にも拡大すること、高齢者と障害児者への支援を一つの事業所で提供しやすくする仕組みである。換言すれば、地域性を生かした「お互い様の地域づくり」を既存の事業所で行っているということである。ただ、現在のように細分化された福祉専門職の有資格者をそれぞれの基準を満たすだけ確保できるかどうか今後の課題だろう。

また、「共生型サービス」の具体的な姿は、まだ法案で明らかにされていない。支援員数や施設・居室の面積、設備・運営基準、利用者定員等は、厚労省が通知する省令をもとに、独自の基準が自治体条例で定められることになっている。故に、「共生型サービス」の支援の質と内容については省令が示されなければ分からない。

性急にならず満を持すことが賢明だろう。さて、現在我が国の経済成長を支えているのはサービス業、特に民間産業による医療、保健、介護サービス費の増収であるだけでなく、今後労働市場の拡大が見込めるのも医療、福祉分野であることがシンクタンクの調査等により明らかにされている。このことに鑑み、社会福祉に係る産業成長がこの国の将来を左右するといっても過言ではないのだ。ただし保険料や税金をベースとする社会福祉は、財源との関係で産業成長を抑制するため、国は利用者本位を名目に、福祉を「産業化」し、利用者を「商品化」し、営利企業の参入を一層促そうとしている。福祉に市場原理が席卷し、経営コンサルタントによる福祉事業経営セミナーが当たり前のように開催されている。しかし、社会福祉の市場化をさらに進めた場合、介護や支援を受けられない人達が今以上に増大することは明白だ。国は社会保障費の抑制と公的責任の後退を図る一方で、全てを弱小な福祉事業所に丸投げしようとしているのだ。

共生社会の実現、それはとても良いことだ。しかし、現代のように希薄化した人間関係の下で、「お互い様の地域づくり」を実践するのは至極骨の折れることである。しかし、単身高齢者の増加や孤立、商業の衰退による食料難民の増加などが大きな生活問題となり、地域生活の支援拠点整備が喫緊の課題となっている。これからは既存の障害福祉事業所が中心となり、これらの課題を解消し、「今日的つながり」の再構築と住民参加による共生文化を持つ福祉コミュニティ

ニティを築いていく必要があるのだ。同時に、我々福祉施設職員にはこれを完遂させるだけのスキルを高めていく努力が要求される時代が来たのだ。



新年最初の行事、初詣に行きました。一月五日はあいにく天候不良で九日に変更になりましたが、龍田大社まで歩いて向かう利用者、車で移動する利用者、それぞれ準備万端、園を出発しました。徒歩チームは、冷たい風にあいながらも皆元気に歩いていきました。龍田大社でヤマトのみんなも合流して全員集合です。代表者が前に並んで座り、皆揃って首を垂れお祓いしてもらいました。帰りもそれぞれ元気に帰ってきてお守りもいただきました。今年も皆様にとつて良い一年になりますように！

### 華道教室新年会

平成三十年一月十八日、最初のお花のお稽古をしました。迎春にちなんだお花をかごに生けました。華道虹雲流家元安井悠心先生指導のもと、一人一人真剣な表情で生け込みました。お昼は、安井先生がご用意して下さいましたお弁当を頂きました。皆さん嬉しそうに食べました。昼からはかるた、福笑い、すごろく、カラオケをしました。みんなとても楽しそうでした。また今年もよろしくお願ひします。



保護者会主催 新年会



一月二十八日、保護者会主催新年会がありました。皆楽しみにしていて、まだかまだかと朝早くからワクワクソワソワ落ち着きませんでした。保護者の皆様も順次来園されて交流ホームに移動しました。作業班ごとにテーブルにつき、お弁当、温かいお蕎麦を食べまし

た。皆美味しくて大満足でした。

みどりの園、ヤマト

合流し、テーブルを片付け座布団を敷き、パイプイスを並べると、萬谷希容子さんを代表とする『歌声バンバン』の歌謡ショーが始まりました。



みんなも



皆よく知っている曲ばかりで、マイクを向けられはさかしそうにながらも一緒に歌ったり、タンバリンを叩いたり、楽しく過ごしました。あっという間に時間が過ぎて保護者会主催新年会は終了しました。また来年も楽しみですね！

12月の行事から

お餅つき



十二月八日(金)年末の餅つきをおこないました。利用者の皆さんも交代しながら、石臼でお餅をペタンペタンと力強く楽しそうにつかれました。ついたお餅をみんなで丸めておいしくいただきました。

関西国際空港外出



十二月十三日(水)、万葉荘園あおば寮居室のもくせい、ひのき、さゆんか、こぶしで関空に行きました。ピンク色のかわいらしいバスに乗っていききました。到着後はいつもと違った様子に皆さんキョロキョロと周りを見ておられました。

食事は空港内のレストランで好きな物を注文して頂き、食後は空港内でお土産を購入しました。

残念ながら風が強く、外の展望デッキでは少しの時間しか飛行機を見ることが出来ませんでした。一日お疲れさまでした。



クリスマス会



十二月二十二日、皆楽しみにしていたクリスマス会を行いました。綺麗に飾り付けられた交流ホームに集合してキャンドルサービュ後にシャンメリーで乾杯！

そしてキングレコードの直子さんとお仲間の皆さんによる、今回で十回目となる歌謡ショーが始まりました。みんなで歌って踊って楽しく過ごしました。利用者さんから花束を贈り、あっという間に時間が過ぎました。そして、トナカイとサンタクロースの入場です。順番にプレゼントを受け取り、さっそく袋をのぞいてみたり、開けて取り出したり、皆嬉しそうでした。

昼食を食べて午後の部の始まりです。今年も西和清陵高校の皆さんが来てくださり、吹奏楽、チャリディング、ダンス等迫力の演奏と演技でした。プレゼントの交換をして、生徒会の皆様と一緒にケーキを食べて楽しい一日を過ごしました。



◇アルミ缶のリサイクル◇

### みどり園だより



みどり園の作業として取り組んでいる『アルミ缶の回収リサイクル』にいつもご協力いただき、ありがとうございます。

ご協力  
いただい  
ている皆様のおか

げで、平成二十九年度は一月現在で四百五十kgアルミ缶を回収し、リサイクル業者では九千円に換金することが出来ました。  
利用者の皆さんは、回収した空き缶をつぶす作業にも楽しんで一生懸命取り組んでおられます。



今後もアルミ缶の回収にご協力を  
お願いいたします。

◇グループホーム  
忘年会◇

### グループホームだより

少し前の行事になります  
が、平成二十九年十二月二十三日、グループホームの利用者さん十二人で忘年会を開催しました。楽しみな恒例行事です。当日、女性の利用者さんの中には世話人さんに綺麗に化粧をしてもう方もおり、それぞれにおしゃれをしてでかけました。

会場である信貴山観光ホテルに着くとすぐに宴会場に案内されました。懐石料理で普段味わうことのできない料理が次々に運ばれてきます。皆さん「おいしい、おいしい」と繰り返しおっしゃって食が進みました。

次は皆さんお待ちかねのカラオケ大会です。司会進行、機械操作も利用者さんにお願いました。平日頃テレビゲームに興じておられる方はさすがに早く操作をマスターされ、率先してみなさんのリクエストに答えてくれました。皆さん自分の順番が来ると立ち上がって得意そうに歌っておられました。その曲に合わせて男性の利用者さんが自ら立ち上がり、女性の利用者さんを誘い華麗なダンスを披露してくれました。食事も満足していただき、楽しく歌って本当に楽しい年末の午後が過ぎました。

◇ジャガイモの植え付け◇

### ヤマトだより



今シーズンは例年よりも寒さが厳しい冬となりましたが、暖かい日を選んで、畑に出てジャガイモの植え付けを行いました。

畝のてっぺんにスコップを使って丁寧に穴を掘り、種芋を入れていきます。初めは畝の盛り上がりをつぶすぐらいに大きな穴をあけてしまったり、種イモを反対に入れてしまったりという失敗もありましたが、段々とコツをつかみ三本の畝に上手に植え付けが出来ました。  
マルチシートを張って完成です。どんなに大きな芋が育つか、今から楽しみですね！



## まるや商店

(青果店)

代表 山岡康彦  
(営業所) 〒636-0822  
奈良県生駒郡三郷町立野南  
2-10-9 (1F)  
TEL:090-8208-8486  
FAX: 0745-31-5390  
携帯: 090-1968-2984



笑顔のおつきあい

株式会社 愛和  
http://www.aiwa-kotsu.co.jp

地域に生き  
地域と伸びる

本社 奈良県北葛城郡王寺町島田4丁目374-1  
TEL 0745-32-1110 FAX 0745-32-7000

大阪営業所 大阪府柏原市青谷35-1  
TEL 072-975-3050 FAX 072-975-3060

十二月・一月・二月

◆ 誕生日外出・誕生日会 ◆

十二月は、十一名の利用者の方が誕生日を迎えられました。お昼ご飯は外食に行き、昼からはDVD鑑賞をして過ごされました。

一月は十名の利用者が誕生日をむかえ、近くのファミリールレストランに行きました。前日より楽しみにしており、メニューを見ながら注文され、とても満足そうでした。

昼からは、誕生日プレゼントをもらい、そのあと玉入れ大会やカラオケで楽しく過ごしました。



その日の夜は皆既月食に加え、月が地球に接近し通常より大きく明るく見えるスーパーームーンと満月がひと月に二度巡りくるブルームーンも重なった特別な日になりました。

二月生まれの方は二名と少なかったのですが、誕生日の外食に行き、昼からはペットボトルで作ったボーリングで楽しめました。みなさんお誕生日おめでとうございます。



◆ 和太鼓クラブ外出 ◆

去る二月十八日(日)いかるがホールに「舞太鼓あすか組」の和太鼓コンサートを鑑賞に行きました。

まず「和太鼓いかるが」の皆さんによる演奏から始まりました。平成十二年四月に斑鳩在住、在勤者を対象に結成され、ふるさと太鼓の演奏グループとして様々なイベントに出演し活動されています。次に、「舞太鼓あすか組」の演奏です。平成二年に設立され、奈良県を拠点に活動されており日本だけでなく世界にも進出されているそうです。太鼓の迫力ある演奏に利用者の皆さんは拍手をしながら楽しんでおられました。舞台の端から端まで使って演奏され、鳥肌が立つほどでした。太鼓の響きだけで喜怒哀楽が表現できていてすごかったです。昼食は近くのファミリールレストランで、皆好きなメニューを選んで美味しくいただきました。一日楽しめました。



職員研修会

二月十日(土) 交流ホームにて職員研修会が行われました。

職員約五十名が集まり、講師には『悠々の郷』の施設長でもあり、当法人の産業医でもある原眞起子先生を招いて「感染症について」の講義を受けました。

園でも数日前まで利用者、職員共に数名のインフルエンザ感染者がいたこともあり、参加した職員全員が真剣に耳を傾けていました。

インフルエンザ、ノロウイルスへの対処の仕方や予防に加えて、感染する経路についてのお話や、普段あまり接することのない感染症についても御講義頂き、職員の意識も高まったのではないかと思います。

今後の生活や支援に生かせるようにしていきたいと思えます。



御寄附・御寄贈

(平成二十九年十二月一日) 平成三十年二月二十八日

御寄付

☆ 万葉荘園みどり園保護者会一同

御寄贈

☆ (株)ヤマト産業 サービスセンター  
☆ 柴山郁子 (順不同、敬称略)



ありがとうございました

万葉

編集・発行/万葉荘園 後援会  
連絡先/〒636-0824 奈良県生駒郡三郷町 城山台2丁目15-1 万葉荘園内

TEL : 0745-32-4331  
FAX : 0745-32-4980  
✉ manyo@themis.ocn.ne.jp